

2019 年度かもめ三ツ井保育園事業報告

毎年年度末に行う保護者の「利用アンケート」には、「預けることに抵抗があったが、今は親切で暖かい保育に感謝している。」「食育が良いし、安心して預けられる。」「就学前までの保育を期待している。」等の声が寄せられ、職員の大きな励みとなった。また、愛着形成を育む保育を始めて3年が経過し、子どもを中心においた保育が定着した。こうした保育の良さが、保護者にも伝わったと考えられる。

経営の視点から見ると、昨年より多くの子どもを預かり経営的には良好であった。反面、産休、育休、育児短時間勤務の保育士もあったため、職員の協力を得て運営した。

1. 保育園の運営

(1)園児入所状況(定員 30 名)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
0	標		8	9	8	9	10	11	12	12	11	12	12	12	126	10.5
	歳短		1	0	0	1	1	1	1	1	2	2	2	2	14	1.1
1.2	標		22	22	23	23	21	21	21	20	19	19	20	20	251	20.9
	歳短		1	1	1	1	2	2	2	3	4	4	4	4	29	2.4
合計			32	32	32	34	34	35	36	36	36	37	38	38	420	35

・今年度の入所は平均 35 名で、(前年度 32.6 名)経営状態は安定していた。

(2)健康管理

- ・内科検診は毎月 1 回実施した。インフルエンザは、12 月に 0 歳児クラスで流行した。
- ・歯科検診は年 2 回実施したが、虫歯のある子はいなかった。

(3)安全対策

①防災防犯避難訓練

- ・防犯防災・避難訓練は、年間の実施計画に沿って毎月実施した。
- ・広域避難訓練は、5 月 30 日(木)丹陽小学校に全員で移動する訓練を行った。

②安全管理

- ・保育中の子どもの怪我は無かった。
- ・毎月の職員会で安全の観点での話し合いを行なって状況を確認し合い、職員会報告に記録した。

③衛生管理

- ・保健所による給食室衛生監査では、中心温度の計測機器の管理(摂氏百度の確認)についての伝達があった。
- ・砂場管理は、業者により年間 4 回実施し清潔を保つようにした。
- ・プールは、水質管理をし、見守りの保育士がいる時はプールの実施をした。
- ・手洗いは、1 歳児から流水による手洗いを行い、テーブル拭きや扉など常にアルコールの消毒を行った。
- ・卵アレルギーの子が除去解除になっていたが、食べていたところ少し赤くなってきて様子を注意して見るということがあった。その後はしばらく再除去食をしていたが発疹は出なくなっていた。

・型コロナウイルス感染予防として、『感染症対策』という厚生労働省からの挿絵ポスターを各部屋に貼り、予防の奨励、流水での手洗いや手指のアルコール消毒、マスク着用を促進してきた。新しい空気清浄機を各部屋に設置し、感染予防に努めた。

2. 保育目標

(1)今年度の方針に対する取り組みより

①子ども一人ひとりを大切にする保育の追求をする。

子ども一人ひとりの生活日課を大切にするため子どもの起床時間を考慮し、登園の早い子遅い子それぞれに合わせて、丁寧に対応した。

②保育の一環としての安心安全な自園給食を実施する。

給食は、旬を取り入れ月齢や年齢にあった和食のダシ味を利かせた給食を出している。その日出される給食の素材に触れる取り組みは、玄関に野菜食材を出して親子で体感できるようにした。4月の竹の子の皮むきに始まり、そら豆、ニンジン、等の触れる取り組み。また、ゼリー屋さん、ヨーグルトの混ぜ混ぜ等のクッキングを実施した。その様子は、写真入りの壁新聞掲示を行い保護者からとても好評だった。

③子どもの主体性を大切にした環境設定を探る。

子どもが自らおもちゃを選んで遊べるように環境の設定をし、気に入ったもので遊べるようテーブルやままごとコーナーブロックコーナー絵本コーナー等魅力ある部屋づくりの工夫をした。手作り、木のおもちゃなどを取り入れた。

④自己肯定感を育む保育をおこなう。

自分で遊びたいおもちゃの選択をすることに始まり、子どもの発想や思いに寄り添った言葉かけについての学びと実践をおこなった。

⑤人との関わりつながり大切に保育を行う。

愛着形成を育む保育を実践しているつみき保育園の見学報告から学んだ。かもめ三ツ井保育園での保育を振り返り、子どもへの言葉かけや接し方の改善に役立つ研修ができた。

(2)保育内容

	目標	1年間の子どもの姿
0歳児	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの要求にあった日課を組み立てる。 じっくり丁寧な言葉かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 当初活発な男子や物の取り合いや追っかけが多く、落ち着いて遊べてなかった子がいたが、日課に合わせた保育を行い、行動分析やケースに合わせた対応をしていくなかでじっくり遊べるようになった。
1歳児	<ul style="list-style-type: none"> 自分の想いを表現できるようにする。 じっくり遊びこめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと関わるのが苦手一人で遊ぶことが好きな子やコーナーの上に乗ってしまっただけ遊べない子、物をひっくり返しているだけの子等には、それぞれに合った寄り添う対応をした。 後半は、友だちとのやり取りが活発になり思いを出せるようになり、激しい物の取り合いや関わり合いが多くなった。 また、徐々に見立てやつもり遊びが気に入り、友だち同士でのやり取りが多くみられるようになった。

2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の想いを相手に言葉で伝えるようにする。 ・友達と一緒に楽しく遊ぶようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳児クラスからの11名と0歳児クラスからの4名の合計15名でスタート。クラスを一つ超えて進級した早生まれの4名は、自分のことが上手く出来ずまた思いを言葉で中々言えず排泄もスムーズではない等があり、課業準備が困難な時もあった。 ・前半は、グループ別の取り組みや個々の対応を丁寧にした。中でも、こども相談『いずみん』福祉型児童発達支援センターいずみ養護施設の先生の訪問観察を受け、生活の見直しを父母と相談して対応したケースもあった。 ・月齢差のあるクラスだったが、後半は、集団遊びを全体で楽しめるようになった。 ・食事もクラス全体で摂るようになり、一緒に楽しめるクラスになった。卒園式では、大きく成長した姿を見せて巣立って行った。
-----	--	--

3. 職員

(1)職員配置

担当	園長・主任・フリー	0歳児	1歳児	2歳児	給食室	その他
配置数	4名	5名	2名	3名	2名	8名(2名)

- ・給食室の正規職員2名が、育児休業の延長や産休をとったため、非常勤栄養士2名で行なう時期があった。この期間の現場管理は園長と主任で行なった。
- ・正規保育士1名は、育児短時間勤務を1時間取得中で、出勤時間は固定勤務にした。

(2)健康管理

- ・職員健康診断15名、特殊健康診断(メンタル診断を含む)9名受診。
- ・職員の体調は、安全衛生委員会の報告には職員の体調が記入されており、職員会でも毎月報告された。また、各部屋の安全点検も記録され、職員会で危険個所の伝達を行った。
- ・職員のインフルエンザの罹患は3名あった。

4. 定例会議

- ・毎月1回の各クラスパート会は必要に応じて2回行った。
- ・チーフ会では、園全体の取り組みの方向を確認した。
- ・月案検討委員会では、個人のケースの確認をした。
- ・職員会は、定例毎月第1水曜5時より行った。この中では、各クラスの状況交流や研修の時間を取り、保育の質の向上のため職員間で具体的に確認することを大切にした。
- ・実践検討職員会は年2回、9月と2月に実施。映像を利用して自分たちの保育の姿の確認をし合い、力量向上を図った。

5. 保育研修

①外部研修

- ・あいち合研に職員16名が参加し、保育の方法や内容について共通認識を持つことができ、実際の保育に活かすことができた。

- ・第51回全国保育団体合同研究集会に向けての予備集会－宮稲沢清須ブロックイベントに職員 12 名参加し、この企画の中軸を担った。
- ・NPO法人名古屋コダーイセンターの乳幼児保育(初心者)研修会に3名が年間で5回の研修会に参加し、「愛着形成」の保育についてケースや関わりの取り組み方を学んだ。

②法人内合同研修

- ・第51回全国保育団体合同研究集会に向けてのプレ合研ブロック企画を開催し参加した。この合研の要員集会などが開催され多数参加し、研修で学び、要員の役割を果たした。

③園内研修

- ・職員会に合わせて学習会をおこない、職員全員で学び適切な対応ができるようにした。

- 4/10 保健「手洗いについて」
- 6/5 AEDの取り扱い心肺蘇生法
- 8/7 年間カリキュラム見直し学習会
- 10/9 保健嘔吐処理について
- 11/6 アレルギーについて

6. 年間行事

- ・行事について、年度当初の計画どおり実施した。
- ・運動会は、土曜日が雨天だったため日曜日に行った。祖父母や父母の参加が多く好評であった。

7. 延長保育事業

- ・保育標準時間認定利用者(月ごとの1日利用平均)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1日平均	3.7	3.2	3.5	4.8	3.4	4.5	6.1	6	5.6	6.5	4.8	5.7

- ・保育短時間認定利用者

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用実数	3	3	4	0	1	1	1	3	2	0	1	0

- ・年間利用状況

短時間認定利用者	実利用数	延べ利用数 (7:15~8:30)	延べ利用数 (16:30~)	標準認定利用者	実利用数	延べ利用数 (18:15~19:15)
	2	2	19		16	1203

- ・延長保育は、入園者全体の45%の利用であった。

8. 土曜特別保育事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1日平均利用者数	4.5	5	4.4	4.7	5	5.2	6	6.7	6.5	5.5	5.8	6

- ・土曜保育は、入園者の約15%の利用であった。

9. 地域に対する取り組み

(1) 地域とのかかわり

- ・三ツ井公園の清掃年2回(5月、9月)実施した。
- ・毎年行ってきたいた稲荷三ツ井町内会の盆踊りへの参加は、『あいち合研』があり日程が全部重なったため、参加できなかった。

(2) 地域における公益的な取り組み

- ・実習生 3 名を受け入れた。

10. 施設、設備について

- ・2012 年に購入した給食室のスチームコンベクションが壊れ、修繕に費用が掛かることからリース契約の機器を導入した
- ・トイレの扉のノブ、トイレの換気扇が故障して取り換えた。
- ・園舎は 1998 年 1 月に建設され、築後 20 年を超えて来ているため設備の老朽状態を注視しながら管理してきた。空調設備は、毎年の洗浄整備をしているが、今後は機器の入れ替えの検討していく。

11. 苦情・意見・問い合わせ等

- ・新入園児の保護者から園に入園してからの子どもの様子を知りたいと問い合わせがあり、個別懇談を実施。担当が園での姿をビデオ撮りして詳しく様子を伝えた。保護者からは、「よくわかった」と返答があり、不安の解消ができた。
- ・保育園園舎側北側の駐車場は、朝夕交通量が多く出入りが危険なため、この駐車場の利用は止めた。貸し主の協力を得て職員の駐車場に保護者用の駐車場を用意した。